

関西浦高会・通信

H29年度 総会・懇親会を開催

11月11日（土）午後1時から、大阪・梅田にある新阪急ホテル「葦の間」で、15名が出席し総会・懇親会を開催しました。



浦高同窓会本部から、加瀬副会長に昨年に引き続きご出席をお願い

し、祝辞とご挨拶をいただきました。第一部の総会で事業報告、会計報告が行われた後、新幹事に石川仁一氏（高22）、山田浩平氏（高23）の推薦と、会計年度の変更（“10月1日～翌年9月末”より“4月1日～翌年3月末”へ）の2案が提議され、総会で2案とも承認されました。

議案審議の後、山田浩平氏（高23）に



よる講演が行われました。少年のころの夢の実現を目指したバイク

の開発について「NinjaH2Rと私」という内容でお話をさせていただきました。講演内容は、次回発行の関西浦高会会報に記載を予定しています。



第二部の懇親会は、浦高同窓会の加瀬副会長から祝辞と乾杯の音頭を執って頂き、午後13時50分から始まりました。

加瀬氏の祝辞の中で、“人間の平均寿命の増加”による「100年ライフプラン」のお話があり、100年時代の人生戦略を考える機会になりました。沢木耕太郎の新聞連載小説「春に散る」のなかに“あの頃”と口に出して、何を補うことなく通じ合う相手がいるのは幸せなことだ”ありました。この関西浦高会が、“浦高時代”との共通の話題で、通じ合える相手がいる“幸せ”の場であることを願いたいと思います。ひとしきり歓談に花を咲かせ、

午後15時から、若手女性演奏家2名による、歌唱と



演奏が行われました。電子ピアノによる浦高の校歌演奏で始まりました。楽しいお話を交えた素晴らしい演奏と歌唱、また腹式呼吸、舌の使い方等誤嚥対策の指導もしていただき、会が非常に盛り上がりました。



最後は、高33回の牛見浩様の万歳三唱で会を閉じました。

